

逃げずに向き合おう

後輩のみなさんの中には、自分のやりたいこと、将来の夢が決まっているという人もいます。私もそうでした。私が獣医師を目指し始めたのは小学生の頃でした。

本校三年生の冬頃から、真剣に大学受験を考え始めました。漠然と獣医師を目指していた私は、入試の厳しさを知り、「獣医師になるための最初の一步」である獣医学部合格までに越えなければならな

い壁が、高くまた多いことに気付きました。四年生の春ごろには一度獣医師を目指すことから逃げたくなりました。獣医師になりたい、でも先が長すぎて目指すことが辛い。とはいえ、自分で自分の夢を断つのが嫌で、誰かに諦めさせてほしいとも思いました。しかし、「自分の夢を断つのが嫌」というところに答えはありました。私は獣医学部を目指し続けることに決めました。これを読んでくださっているみなさんには、まだ時間があります。自分の夢が遠くても、今

諦めるのは勿体ないと思います。

また、私には大きな課題がありました。私は、数学と理科が苦手だったのです。そんな私が理系に進むことはかなり不安でした。しかし獣医学部への想いが勝り、獣医学部のためだけに理系に進むことを決心しました。正直、最後まで、特に物理に関しては苦手を克服しきれたとは言えません。しかし、得意だった英語が大きな武器となり助けてくれました。苦手科目で足を引っ張らない程度に得点できれば他の科目で補う戦略

を立てることもできます。数学、理科が苦手な理系志望の方がいれば、文理選択の時点で諦めないでください。

受験勉強を進めるなかで、複数の科目をバランス良くこなすことが大変になる時期がありました。獣医学部のある国公立大学は全国で11校しかありませんが、それぞれの大学で受験科目がかなり異なります。中には数学Ⅲが必要ではない、理科が一科目でよい、という大学もあります。五年生の春に、数学Ⅲが必要ではない大

学を志望校にしようと考え、その旨を学校の先生に相談したことがあります。先生からは、志望校を変更するときに融通が利きづらくなる、そして、もし第一志望校を教科数が少ないという理由で他の大学に変更した場合、モチベーションが保てなくなる、と助言を頂きました。私はこの時期に一科目捨てることにあまりメリットがないと思い、数学Ⅲにしっかり向き合うことを決めました。みなさんが自分の目標のために熟考した結果、受験に必要な科目を捨てる

ことは良い判断ですが、科目のせいで目標や志望校を変えることはお勧めしません。

各大学、学部入試は、センター試験の傾斜配点、またセンター、二次試験の配分が異なっており、センターリサーチの判定が大きく変わります。得点圧縮などの条件によって、リサーチで想定と違う結果が出ることもあります。私も、自分のセンターリサーチの結果を見ると、予想とは違った結果であり、志望校決定に大きく影響しました。私は、科目や配点を考える

と受験しないだろうと思っていた大阪府立大学の判定が一番良く、志望校に選択することにしました。大阪府立大学の獣医学部は、数学Ⅲが必要でした。獣医師の夢を叶えるためにより判定の良い大学に挑戦できて、あの時科目を減らさなくてよかったと思いました。受験は予想できません。いろいろな場合を想定しておくほうが良いと思います。

受験生は大変ですが、周りの人の優しさに気付ける時期でもあります。辛いときには頼って、まわり

の人への感謝を忘れずに頑張っ
てください。